

1 第2期実施計画（p23）における記載

開設準備委員会において、次のような「統合校が目指す姿」及び「統合校における教育活動の例」を踏まえ、統合校の名称のほか、具体的な取組等について協議します。

【統合校が目指す姿】

- 総合学科と工業科の併置校として、生徒の興味・関心等に応じた多様な学習により、幅広い知識や視野を身に付けさせ、生徒一人一人の進路志望を実現する高校
- 生徒のニーズや地域の特性を踏まえた系列を設置し、生徒の個性や能力を伸長させ、豊かな社会の実現に寄与する高校
- ものづくりに関する実践的な学習を通して専門的な知識・技術を身に付けさせ、地域産業の発展に貢献する高校

【統合校における教育活動の例】

- 学科や系列の枠を越えた探究活動や科目履修等、総合学科と工業科の連携による教育活動の推進
- 地域の社会人や有識者の積極的な活用や多様な選択科目の開設等、生徒の進路意識を高める教育活動の推進
- エネルギーや介護福祉等に関する科目の開設等、地域の特性や産業構造を考慮した教育活動の推進
- 熟練技能者による技術指導や大学・企業との連携による最先端技術の学習、高度な職業資格の取得等、高い専門性を身に付けさせる教育活動の推進

2 統合校に引き継ぎたい特色ある教育活動

論 点

「下北地区統合校教育内容等情報交換会での意見」、「下北地区統合校検討委員会からの要望」、「学校関係団体、産業関係団体等との情報交換等における意見」及び統合対象校からの提案を基に、統合校に引き継ぎたい特色ある教育活動としてどのようなことが考えられるかという視点で協議する。

【下北地区統合校教育内容等情報交換会での意見】

- 地域のことを学び、地域と交流する教育活動
- 大湊高校で取り組んでいる探究活動や「外まなび部」などの教育活動
- 地域や企業、研究機関との連携による共同開発など、地域に貢献する教育活動
- 成果発表会の開催など、地元の中学校に高校を知ってもらう教育活動
- 第三種電気主任技術者認定校の要件を満たした教育課程

【下北地区統合校検討委員会からの要望】

- 地域特性を活かした科目及び今後求められる人材育成に必要な科目を設定すること。
 - ① 海洋科学、環境科学、原子力・自然エネルギー、I C T等の研究者や技術者の育成に寄与する科目
 - ② 看護師、介護士、保育士等、地域が必要とする職種につながる科目
- 資格取得に有効な現行の科目を維持・継続すること。
- 第三種電気主任技術者認定校の機能を継続すること。

【学校関係団体、産業関係団体等との情報交換等における意見】

- 学科が決まっているとしても、コンピュータや原子力等を学べるコースの設置等を検討すべき。
- 授業以外の放課後や長期休業中の講習等を活用し、地元の企業を講師に呼ぶ等して、資格取得ができる環境を整えてほしい。
- 両校の特色ある教育活動を統合校にもしっかりと引き継いでほしい。
- 統合校はたくさん挑戦し、成功と失敗をたくさん経験できる高校にしてほしい。
今の高校は限られたカリキュラムの中で教育活動を行っており、生徒の失敗経験が少ないと感じている。地域との関わりを増やし、アウトプットの機会を増やしてほしい。
- 統合校は間口を広げ、地域との活動をたくさん行う高校にしてほしい。
- 高校生のうちに色々なことを経験させたいと思うし、地域の色を出した教育もできるのではないかと考えている。
- 地域のことを学ぶために、地域の歴史、地域の地理、地域の経済等といった、「地域」という文字をつけた授業を、統合校では増やしてほしい。

【大湊高校からの提案】

○防災について学ぶ「下北BOUSAIネットワーク」

下北管内の県立学校（大間、大湊、むつ工、田名部（全・定）、むつ養護学校）が共同で防災への取組を行っている。

○Universal Design for Learning（UDL）を取り入れた学び

学習に関する具体的なプロセスに「オプション（選択肢）」を組み込んで、多様な生徒に対応する授業を行っている。

○ねぶた運行

文化祭前日に毎年実施しており、地域の風物詩となっている。

3 統合校の新たな特色ある教育活動

論 点

統合校の特色ある教育活動について、「下北地区統合校教育内容等情報交換会での意見」、「下北地区統合校検討委員会からの要望」、「学校関係団体、産業関係団体等との情報交換等における意見」を基に、現在、両校で取り組まれていない新たな教育活動としてどのようなことが考えられるかという視点で協議する。

【下北地区統合校教育内容等情報交換会での意見】

- 実践型のインターンシップの拡大や、地域の小・中学校と高校による系統的なキャリア教育の推進、関係校それぞれのキャリア教育の強みの融合などにより、生徒の多様な進路へ対応する教育活動や進路指導の充実
- 総合学科と工業科の併置によるメリットを生かし、補習等で工業簿記を行うなど、職業資格の取得につながる教育活動

【下北地区統合校検討委員会からの要望】

- 資格取得に有効となる新たな科目を創設すること。
- 県内の他の拠点校と連携し、オンラインでの履修を可能とすること。
- オンライン授業に対応できる環境を整備し、世界中の学校と交流できるグローバルな教育を実現すること。

【学校関係団体、産業関係団体等との情報交換等における意見】

- 大湊高校とむつ工業高校の授業を引継ぐだけでは足りない。新しい学校では新しい教育をすべき。
- 統合校はたくさん挑戦し、成功と失敗をたくさん経験できる高校にしてほしい。今の高校は限られたカリキュラムの中で教育活動を行っており、生徒の失敗経験が少ないと感じている。地域との関わりを増やし、アウトプットの機会を増やしてほしい。（再掲）
- 統合校は間口を広げ、地域との活動をたくさん行う高校にしてほしい。（再掲）
- 高校生のうちに色々なことを経験させたいと思うし、地域の色を出した教育もできるのではないかと考えている。（再掲）
- 地域のことを学ぶために、地域の歴史、地域の地理、地域の経済等といった、「地域」という文字をつけた授業を、統合校では増やしてほしい。（再掲）
- 総合学科と工業科における決められた科目だけではなく、地域に必要な科目と一緒に考えて作ってほしい。